科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	ロシア・東欧の文化とことば　　新座(Niiza) (Culture and Language in Russia & Eastern Europe)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日本とロシアの映画における「子供」の表象 (The representation of children in japanese and russian films)		
担当者名 (Instructor)	久野　康彦(KYUNO YASUHIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

子供を題材にした日本とロシア・ソ連の映画を複数鑑賞し、それぞれの映画における子供の描かれ方とその社会的・歴史的背景を考察しながら、それぞれの国の映画の社会的・歴史的・文化的特徴について自分の頭で考え自覚的になることを目指す。

The aim is for students to think for themselves about the social, historical and cultural differences between Japan and Russia (The Soviet Union) by watching various films about children.

授業の内容(Course Contents)

日本とロシア・ソ連で製作された映画を約 8 本鑑賞し、それぞれの特徴を考察する。

We will watch eight films produced in Japan and Russia(Soviet Union) and examine each feature.

授業計画(Course Schedule)

1. 初回ガイダンス、『美しい夏　キリシマ』(2003、日本)鑑賞
2. 『美しい夏　キリシマ』鑑賞[続き]
3. 『僕の村は戦場だった』(1962、ソ連)鑑賞
4. [講義]戦争と子供をめぐる日露の映画
5. 『鉄塔　武蔵野線』(1997、日本)鑑賞
6. 『動くな、死ね、甦れ！』(1989、ソ連)鑑賞
7. 『誰も知らない』(2004、日本)鑑賞
8. 『誰も知らない』鑑賞[続き]
9. 『ぼくら、20 世紀の子供たち』(1993、イギリス、フランス、ロシア)鑑賞
10. 〔講義〕越境する子供をめぐる日露の映画
11. 〔講義〕バブル時代と冷戦後の子供たちを描いた日露の映画
12. 『みかへりの塔』(1941、日本)鑑賞
13. 『人生案内』(1931、ソ連)鑑賞
14. 〔講義〕第二次世界大戦前の児童保護施設の子供たちを描いた日露の映画

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業で 1 本映画を見終えたら、原則として映画の感想を記した小レポートを作成し、次回授業時までに提出。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/小レポート提出(50%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

参考文献は、授業時に適宜指示する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

毎回出席はとらないが、授業で上映された映画を見ていることを前提に講義を行い、レポート試験を行うため、授業の出席は重要である点には注意。就活で不定期にしか出席できない者は、その点考慮の上受講すること。授業に欠席し見逃した映画については、DVD 購入・レンタル等の手段を使って鑑賞しておくのが望ましい。

注意事項(Notice)